

立教大学社会福祉研究所主催 2018年度社会福祉セミナー 「輪読－小山進次郎『生活保護法の 解釈と運用』を読む」(全7回)

- ◎ 日 時:2018年5月～2018年12月:月1回日曜日(9月除く)。
(5/6, 6/10, 7/8, 8/5, 10/7, 11/11, 12/9)
- ◎ 時 間:13:00～16:00
- ◎ 場 所:立教大学池袋キャンパス 12号館地下1階 第3会議室

小山進次郎『生活保護法の解釈と運用』は、刊行後65年を経た今日も読まれ続けている生活保護法の古典である。生活保護が社会的関心を引くたび、制定時の理念を確認するために必ず参照されている。しかし、本書は900頁を超え、内容も高度であり、一人で読むことは難しいため、輪読形式で読了を目指す。今年度は本書の**後半(第6～11章)**を読む。

※今回から参加される方は、実費でテキスト前半部分を購入することができます。

形 式:テキストの輪読(第1回はイントロダクション)。

講 師:菅沼 隆(立教大学社会福祉研究所副所長、立教大学経済学部教授)

対 象:一般(社会福祉専門職、民間支援団体関係者、研究者など)、大学院生、教職員

申 込:定員最大15名、ただし7名に満たない場合は中止とさせていただきます。

「輪読－小山進次郎『生活保護法の解釈と運用』を読む」と明記し、①氏名、②携帯番号、③ e-mailアドレス、④所属及び職業を記入の上、メール・Faxにて申込。

全7回の参加を前提とし、原則、入金後の返金はしない。

申込・振込の締切:2018年4月25日(水) 17:00まで

受講料:一般 15,000円、学生 7,500円(全7回分)

※テキスト<第6～11章>の印刷代を含む。

講師プロフィール:菅沼 隆 博士(経済学)

著書『被占領期社会福祉分析』(ミネルヴァ書房)で、旧生活保護法の成立と展開を研究(社会政策学会奨励賞、社会事業史学会賞、損保ジャパン記念財団賞を受賞)。監修『日本社会保障基本文献集(全30巻)』(日本図書センター)など。他にも著書多数。

※テキストについて

テキストは複写製本したものを初回に配布いたします。著作権承諾済みで、複写は固く禁じられております。

お問い合わせ:立教大学社会福祉研究所

Tel:03-3985-2663 Fax:03-3985-0279 E-mail:r-fukushi@rikkyo.ac.jp